

定例教育委員会会議録

平成26年2月21日

境港市教育委員会（平成26年2月21日委員会会議録）

招集年月日 平成26年2月21日 15時30分

招集場所 市役所第三会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基
③ 足立 ひと美 ⑤ 永井 美央
⑥ 遠藤 恵裕

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会参事 門 脇 俊 史
教育総務課長 永 井 卓 真
教育総務課主査 山 本 淳 一
教育総務課係長 足 立 統
生涯学習課係長 片 寄 幸 江
図書館館長 藤 原 順 宣

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課管理係長 足 立 統

提出議案 議案第1号 境港市外江公民館長の任命について
議案第2号 平成26年度学校教職員の研修方針について

協議事項 教育についての意見交換

報告事項 2月の行事報告、3月の行事予定など

遠藤委員長 定刻になりましたので2月の定例教育委員会を始めます。
今回は議案が2つ出ておりますが、先ず議案第1号について説明をお願いします。

生涯学習課係長 議案第1号境港市外江公民館長の任命についてでございます。現在外江公民館長であります角館長は以前から後任者が決まれば辞める意志を示されていましたが、後任者が決まらなかったため、任期の更新を行い現在に至っております。この度、地域及び公民館運営審議会委員長などで人選をさせていただいて、後任者が決まりましたので任命するものであります。新たに任命したいと考えているのが、松浦友三さんで30代の時に外江地区の自治会や育成会の活動に携わっておられ、地域に貢献されております。現在の角館長の任期は平成27年3月31日までとなっておりますが、ご本人の希望もあって、今年度末までとし、4月1日から松浦さんを新館長にと考えております。

遠藤委員長 わかりました。私も以前からその話は聞いていたのですが、後任が決まったということですね。この件についてはよろしいでしょうか（異議なし）。それでは承認いたします。続きまして議案第2号学校教職員の研修方針について説明をお願いします。

教育総務課主査 変更点としましては、これまで講師研修会（以下「講師研」という。）を毎月のように行っておりましたが、全体のバランスから考えますと、講師研に力を注いだ量が非常に多くなっておりましたので、それを1学期に1回ずつ、年3回に束ねるようしております。それに伴いまして、マスター教員研修会というものを考えており、教職歴30年以上の蓄積された経験とノウハウを若い者に伝えていくような、教職のマニュアル本のようなものを1年間かけてつくったり、教授のプロとして残りの教職生活をいかに充実させていくかというところの研修を5月の早い時期に行いたいと考えております。また、昨年までは10年から30年までの間にリーダー教員レベルアップ研修とい

うのを企画しておりましたが、ほとんどの方が受講されており、3分の1の方が2回以上受講されているという状況でしたので、今年度より廃止しております。10経年未満研修会というのを昨年度より企画しまして、10年に満たない初任者から10年までの間の方をそれぞれがグループを作って話し合いを持つということやこちらが提示した議題に対してディスカッションしていただくと、新採の先生と10年経って学校の若頭というか中心で動かしておれるような方が交わる機会というのは、参加した後の感想も大変有意義だったということでここは充実させていきたいと考えております。若手教員と10経年未満の教員にシフトをして講師研の数を減らした分を若い先生方のスキルアップに取り組んでいきたいという具合に考えているところでございます。

遠藤委員長

市教委が行う研修につきましては地方公務員法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律によるということ、それに沿って実施していくということですね。マスター教員研修会というのは良い取り組みかもしれませんね。委員さんの方で何か質問等ございますでしょうか。

永井委員

マスター教員研修会の中でマスター本を作成するということでしたが、これは毎年まとめていくのですか、とりあえず来年度やってみるということでしょうか。

教育総務課主査

まだ構想の段階なのですが、例えば生徒指導が得意な先生がいて、「自分たちの若い頃にはこういう子ども達がいって、こんなことをすればうまくいった。でも、今は違って、「こらっ」と声を出せば良かったのが、今は寄り添って話を聴いてあげないといけない。」そこに自分の気づきと発見をしながら、新たなものへ移行していくところ、置き忘れていた古いものを温めることで、新たなものにつくりかえていただくところ、先ずベテランの先生方がそこに気づきを持っていただいて、「ワシは年だけんいい、いい。」と言っておられたところをもう一度ギアを入れてい

ただくために、そして次の世代にバトンタッチするための本を蓄積していきましょうという具合に思っております。毎年ではなく、隔年くらいで、例えば教科のチーム、道徳のチーム、部活動のチームというようなところでノウハウ本をつくるよう計画しているところでございます。集められたメンバーのグループ分けによって、それらを決定していただくというような感じで考えております。

遠藤委員長 他にございませんか。

足立委員 講師の研修会を学期毎に1回というように減らされたということでしたが、これでも十分手厚いなと思います。10年未満の若手教員の育成の研修会も手厚くなっているなと思います。その他の研修会もこれ以上数を増やすことは難しいと思いますので、今日的課題、いじめやインターネット、防災等といったものを内容に含みながら実施していただけたらと思います。

遠藤委員長 その方向で進めていただきますようお願いします。議案第2号についてはよろしいでしょうか（異議なし）。それでは承認とします。続いて協議事項に入ります。先ずは市民会館の耐震診断の結果が出たということですので、報告をお願いします。

教育委員会参事 市民会館の耐震診断の確定値が出ましたのでご報告します。ホール棟につきましてはIs値が0.1、会議棟につきましては0.39で、いずれも構造耐震指標の0.75を下回っております。ホールの方は非常に低い値になっており、大規模な地震が来たら多米ノ倒しのようになってしまいますので、継続して使用禁止となります。会議棟については当面は現状のまま使用したいと考えております。

永井委員 0.75が基準で、0.39というのは良いのですか。

佐々木教育長 0.3を下回ると震度6強で倒壊しますので、緊急の措置

が必要となります。

教育委員会参事 耐震補強をした方が良いのですが、今すぐにどうこうというわけではないので、当面は使用します。2月27日に各界、各層の代表者の方にお集まりいただいて、市民会館の今後のあり方についてご意見を頂戴いたします。また、3月の市報でパブリックコメントを求めて、広く市民から意見をいただく予定にしております。

遠藤委員長 説明いただきましたが、いかがでしょうか。

足立委員 2月27日にある今後のあり方を聴く会のメンバーはどのような方でしょうか。

教育委員会参事 文化団体、音楽団体、自治会、社会福祉団体などです。

佐々木教育長 何人でしたか。

教育委員会参事 16人です。

遠藤委員長 ホールを使用する、関わりがあるような団体ということですね。ホール自体は全くダメなわけですね。

教育委員会参事 ダメですね。

遠藤委員長 私はホワイエの方だけだと思っていたのですが、そうではないのですね。最初はそういう話だったと思いますが、中の方もダメだったということですね。

佐々木教育長 速報値とは少し違っていますが、やはり使用には耐えられないということです。

遠藤委員長 会議室については一応使用可能ということですが、基準値を下回っているということで、何らかのことも考えられるのでしょうか。

- 教育委員会参事 ホールと同時に考えないといけませんので。
- 永井委員 最終的な結論、決定というのはいつ頃という目途をたてているのですか。
- 教育委員会参事 今の段階ではわかりませんね。市民の皆さまに広く意見を聞かないといけませんので。
- 永井委員 市内の中学校で市民会館を使用していたものに関しては次年度は使用しないという方向で動いているのですね。
- 教育委員会参事 文化ホールを使えば、1学校は大丈夫かなと考えております。400人入りますので。
- 遠藤委員長 築40年くらいですよ、確か去年ののど自慢が40周年でしたよね。現時点での委員さん方の率直な意見を伺いたいのですが、どうでしょうか。
- 谷田委員 先程も話がありましたが文化ホールがありますので、それがあの中でホール棟の意義というか、役割はどういう状態なのでしょう。今使用禁止にしていますが、そのことにより不都合が出ているのでしょうか。
- 教育委員会参事 元々使用の頻度は低かったです。カラオケ大会や自衛隊の音楽会、ブラスフェスタ、ライオンズクラブの寄席くらいですかね。
- 足立委員 境港がこれからますます躍進していく中で、1000人規模のホールは必要なのかなと思います。ただ耐震的な面だけで補強というだけでなく、財政的なところもあると思いますが、複合施設など長期的な展望で検討していただけたらと思います。
- 遠藤委員長 図書館との関わりもあるんですよ。複合施設的なもの

として、確かに1000人規模程度の施設は欲しい気もしますが。

永井委員 新しく建てるにしても、補強が可能で補強するにしても多額な費用がかかってきますので、境港市のホールという考えをするのか、西部圏域での大きな広がりの中で考えていくのか、図書館のこととか、いろいろあって考えがまだまとまってないのですが。

遠藤委員長 J Cの方では何か出ていますか。

谷田委員 今のところ何も出ていません。

永井委員 文化ホールの耐震は大丈夫なのですよ。

教育委員会参事 新耐震基準の建物ですので、大丈夫です。

永井委員 雨漏りの方も大丈夫ですかね。

教育委員会参事 基本的には今回直しておりますので、大丈夫です。

遠藤委員長 わかりました。経過報告ではないですが、要所要所で情報を出していただけたらと思います。

佐々木教育長 参事が申しましたように早急に答えを出すべきではないと思っております。耐震強度が足りないなら補強して使用すれば費用も少ないと思われる方が多いと思いますが、コンクリートの劣化ですとか、関連する施設主体の方針なども考えますと耐震補強が必ずしも良いとは限りません。たくさんの方の意見を聞いて、どのような可能性があるのか、大きな財政負担を伴いますので、その辺りをよく勘案して、情報整理をして、判断をしないといけないと思います。それは教育委員会だけの判断ではできませんので、市全体で考えていけたらと思っております。

遠藤委員長 わかりました。市民会館についてはよろしいですかね。
協議事項について他に何かありますかね。

教育委員会参事 平成27年4月から学校給食費の公会計化を目指します。
今は学校で集めたものを学校給食会という任意組織に入
れてもらっているのですが、これを市の公会計の中に組み
入れます。このことによって学校からの振込の際の事故の
防止、徴収や滞納処理など教師の労力を省いてもらい、子
どもたちと向き合ってもらうことを目標に、市の方で全て
の処理を行うよう計画しております。

遠藤委員長 平成27年度からですね。学校給食会についてももう少し
説明をお願いできませんか。

教育委員会参事 学校給食会という教育長が会長の任意の組織があります。
これは法人格を持っておりません。ここで食材を買って、
給食を出すわけですが、給食費の材料費相当分を保護者か
ら徴収しないとイケませんので、徴収については学校毎に
口座振替を今やっております。上道小学校だけは口座振替
になってなかったのですが、ここも4月から口座振替にな
ります。一旦、学校口座に振り込まれたものを学校から市
の口座に振り込んでいただき、歳入を確保します。そのお
金で材料費を買うという仕組みになっております。

遠藤委員長 今は給食の献立や給食費を幾らにするかというのは、学
校給食会でやっているということですよ、市の負担は。

教育委員会参事 市は設備の維持管理に係る費用と人件費を持っています。

遠藤委員長 運営するのは学校給食会ということで、お金の部分を市
が持つようになって、学校給食会は残るんですよ。

教育委員会参事 学校給食会は解散します。

遠藤委員長 学校給食会は解散ですか。

教育委員会参事 解散して、全て市の業務になります。

遠藤委員長 会計がなければ会も必要ないということですかね。

教育委員会参事 給食費の未払いに対する対応で学校現場は苦勞されていますので、その辺りの負担を学校現場から省いて、子どもたちと向き合う時間を増やしていただきたいと思っております。

遠藤委員長 他市町村では公会計化を実施しているのでしょうか。

教育委員会参事 倉吉市が既に実施しております。

永井委員 中学校に弁当屋さんやパン屋さんが入っていると思いますが、それはどうなりますか。

教育委員会参事 給食を食べていただきますので、なくしたいと考えております。

遠藤委員長 わかりました。協議事項についてはよろしいでしょうか。

こころと食のフェスタについて教育総務課より説明

遠藤委員長 それでは報告事項についてお願いします。

教育総務課主査、生涯学習課係長、図書館長 各報告

遠藤委員長 それでは、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。